Ⅳ　固定資産の減損

⑴　減損を認識した資産

1　旧経済学部同窓会館

①減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

（単位：円）

用途	種類	場所	帳簿価額
旧経済学部同窓会館	土地	和歌山市和歌浦南３―1679―12	39,293,494

②減損の認識に至った経緯

教職員等の宿泊施設、会議室、厚生施設等の建物敷地として活用していたものですが、同建物について、経年による老朽化、塩害による外壁落下、耐震数値が基準値以下等の状況により止むを得ず利用を制限し、改修のための予算確保に努めてきましたが、予算の確保が極めて困難な状況で改修の見込みが立たず、将来の使用が確実に想定されないため、減損を認識しました。なお、同建物、同構築物についてはすでに除却しています。

③減損額

回収可能サービス価額が帳簿価額を上回ったため、減損処理を行っていません。

④回収可能サービス価額の算定方法

回収可能サービス価額は、正味売却価額により算定しています。

正味売却価額は、相続税評価額に基づき算定した価額により処分費用見込額を差し引いた額としています。

2　関戸宿舎跡地

①減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

（単位：円）

用途	種類	場所	帳簿価額
関戸宿舎跡地	土地	和歌山市西高松１―316―６	107,565,744

②減損の認識に至った経緯

承継時に国際交流会館建設用地として出資された資産であり、国際交流会館建設実現に向けた要求等を行ってきましたが、予算の確保が極めて困難な状況で建設の見込みが立たず、将来の使用が確実に想定されないため減損を認識しました。

③減損額

回収可能サービス価額が帳簿価額を上回ったため、減損処理を行っていません。

④回収可能サービス価額の算定方法

回収可能サービス価額は、正味売却価額により算定しています。

正味売却価額は、相続税評価額に基づき算定した価額により処分費用見込額を差し引いた額としています。

⑵　翌事業年度以降の特定の日以後使用しないという決定を行った固定資産

①使用しないという決定を行った固定資産の用途、種類、場所等の概要

用途	種類	場所
紀伊合同宿舎４号棟	土地	和歌山市神波30―３
	建物	和歌山市神波30―３
	構築物	和歌山市神波30―３

②使用しなくなる日

平成24年７月（予定）

③使用しないという決定を行った経緯及び理由

上記の土地、建物及び構築物は周辺環境の変化等により職員宿舎としての使用を廃止する決定をしました。

④将来の使用しなくなる日における帳簿価額、回収可能サービス価額及び減損額の見込額

（単位：円）

用途	種類	使用しなくなる日における帳簿価額	回収可能サービス価額	減損額（見込額）
紀伊合同宿舎４号棟	土地	90,800,000	（＊１）	（＊１）
	建物	16,986,688	―	16,986,687
	構築物	995,753	―	995,749

（＊１）相続税評価額に基づき算定した価額を回収可能サービス価額とし、減損額を算出することを予定しています。

Ⅴ　金融商品の時価等に関する状況について

１．金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については預金、国債、地方債及び政府保証債等に限定しています。

資金運用にあたっては、国立大学法人法第35条が準用する独立行政法人通則法第47条の規定に基づき、定期預金のみを保有しています。

２．金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりです。

（単位：円）

	貸借対照表計上額（＊１）	時価（＊１）	差額（＊１）
⑴　現金及び預金	1,541,950,489	1,541,950,489	―
⑵　未収学生納付金収入	24,816,000		
徴収不能引当金（＊２）	△　228,556		
	24,587,444	24,587,444	―
⑶　その他の未収入金	60,122,830	60,122,830	―
⑷　長期リース債務（＊３）	(205,326,699)	(205,955,492)	(628,793)
⑸　短期リース債務（＊４）	(105,026,163)	(105,825,969)	(799,806)
⑹　未払金（＊５）	(997,508,119)	(997,508,119)	―

（＊１）負債に計上されているものについては、（　）で示しています。

（＊２）未収入学金収入に対して計上している徴収不能引当金を控除しています。

（＊３）貸借対照表上は、固定負債の「長期未払金」に含まれています。